

京都市動物園の遺跡 —法勝寺八角九重の塔—



今の京都動物園で一番人気といえばやはり、動物たちとの触れ合いができるおとぎの国コーナーではないでしょうか？さらにここより東のほうへ進むと遊園地的な場所があり観覧車が目立ちます。この場所も人気があり乗り物に乗るのにいつも順番待ちの行列が出来ます。ここにある観覧車は実に古く1956（昭和31年）年の建設だそうです。





京都アスニーにある八角九重塔の展示模型

実は、この観覧車のある、まさにこの場所に平安時代に建てられた法勝寺八角九重の塔があったのです。

1083年（永保3年）に落慶供養が行われた八角九重の塔は高さ27丈（約81m）あったとの記録があり、その高さ故、塔はたびたび地震や落雷の被害に遭い、1208年（承元2年）には落雷で焼失するが、5年後には再建されました。しかし1342年（暦応5年）には火災で焼失し、その後は再建されることはなかったそうです。

2010年に行われた発掘調査では、付近の白川砂の軟弱な基盤をなんと、15mの深さまで掘り下げ、一抱えもある大きな石や粘土を交互に積み上げて、堅牢な地盤改良がおこなわれていたそうです。